

農業委員会だより

第 55 号

平成 30 年 12 月
田原市農業委員会
☎23-3519 / FAX22-3817
ID1001917

畑の表土の流出を防止しまし う

12月になり、渥美半島ではキャベツやブロッコリーが青々と育ってきました。一方、畑の隅を見ると、道路や側溝に畑の土が流出している光景をよく見かけます。

こうした状況を放置すると、ひとたび大雨となれば畑の表土が大量に流出し、道路の通行に支障を来したり、水の流れをふさいだりしてしまいう可能性があります。

また、表土の流出は川や海の汚染にもつながります。今年の9月末の台風24号の通過後には、流出した土により三河湾が赤く染まってしまいました。

農地の耕作者からしても、手間と資金をかけた大切な土を失うことになり、大変もったいないこと



●台風通過後に道路に流出した土

です。

もちろん豪雨によって表土が流出してしまふのは避けられませんが、しかし、次のような対策を取ることで、一定の効果が得られるはずです。



●ネットによる土留めの様子

- 畑の隅ぎりぎりまで耕作するのは避ける
- 除草剤の使用を抑え、のり面の草をある程度残すようにする(特に、道路や水路側)
- ただし、草があまり高くなならないよう管理する
- 水の流れなどによって、土が流出しやすいところには、土留めを設ける
- 側溝などにたまった土は定期的に取り除く

自分の農地は自分で管理するといふ意識を持ち、周囲に迷惑を掛けないうように心掛けましょう。

農作物への散水には注意して ださい

スプリンクラーなどの散水が道路にはみ出すと通行の支障になり、交通事故の原因にもなりかねません。風の流れによっては水が近くの民家に入り、トラブルになってしまうこともあると聞きます。

また、限りある豊川用水の水の無駄遣いにもなってしまいます。

散水機をきちんと調節し、必要な分だけ、農地に散水するようにしましょう。

婚活イベントを開催します！

たはら農業委員婚活実行委員会では、平成31年3月2日(土)に婚活イベントを開催します。対象となるのは30〜45歳の農家の男性、25〜45歳の一般女性です。

詳しくは、チラシや田原市農業委員会のHPなどをご覧ください。

